

(防犯・防災通信) 緑 の 風

西町町会 防犯・防災部長

◇【防 犯】 住まいる防犯 110 番 万全ですか？住まいの防犯対策（警察庁 HP より）

かつて日本は、「世界一安全な国」を誇っていました。しかし、都市化、核家族化、住民意識の多様化など時代の流れとともに地域コミュニティの弱体化が進展し、地域社会が持っていた防犯機能が低下してしまいました。犯罪者が一番嫌がるのは、地域の連帯と信頼感だといいます。（中略）地域コミュニティがしっかりしているまちは、侵入犯罪に強いといえます。

いつ、どこで、誰が犯罪に遭うかわからないような最近の犯罪情勢の中で、犯罪から家族の安全や財産を守るためには、**みなさん一人ひとりが高い防犯意識と正しい防犯知識を持つことが大切です**。そして、視点を身近なところから地域全体へと広げながら、具体的な防犯行動をおこす必要があります。まずは、「住まいの防犯対策の見直し」から始めてみませんか。

- 在宅時でも、出入口や無人の部屋の窓に鍵をかける習慣をつけること。
- 訪問者に対しては、不用意にドアを開ける前に、まずドアスコープやインターフォン越しなどで確認すること。
- 外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないかよく確認すること。※ 宅配業者の訪問を偽装した手口には、荷物の受取りに宅配ボックスを活用するなど、宅配の荷物を直接受け取らない方法をとることが大切です。
- 日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えておくこと。
- 玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させること。建物部品を選ぶときは、防犯性能の高いものを。
- 設置した防犯設備機器を有効に役立てること。
- 旅行など長期不在にするときは、隣近所へ声をかけ合ったり、郵便物・新聞などの配達を止めるなどの注意も必要。
- 合鍵の不正作製を防止するため、鍵を家族等以外の必要のない人には「見せない」「渡さない」、写真や動画で「写さない」。
- 自宅に必要以上の現金を置かないこと。電話等で在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えないこと。
- 不審を感じた場合には、ためらうことなく 110 番通報すること。

◇【防 災】

下記により、西町防災講座を行います。どなたでも調理体験、試食体験ができますので、ぜひお出かけください。簡単な昼食も用意します。

記

- 実 施 日 :令和7年11月16日(日曜日) 午前10時～12時ころまで
- 場 所 :会場 西町公民館、一部公園内(雨天の場合は公民館室内のみ)
- 訓 練 内 容 :災害時における簡易的な調理(パッククッキング、ほか)
- 指 導 員:宮坂綾子さん(9組、管理栄養士) ほか
- 参加申し込み…食材購入のため、申し込みが必要。別途公民館長より案内があります。

以上

◎松本市の災害リスク（命を守るための防災・減災対策が必要です）

まずは自助、そして近隣等の共助。公助は最後の頼みの綱です。

◆ 想定地震

1. 糸魚川―静岡構造線断層帯(全体;小谷村～山梨県富士川町)
(1) 規模 震度7 マグニチュード 8.5
2. 糸魚川―静岡構造線断層帯(北側;小谷村～塩尻市)
(1) 規模 震度6強 マグニチュード 8.0
3. 境峠・神谷断層帯(松本市安曇～伊那市)
(1) 規模 震度6強 マグニチュード 7.6
4. 南海トラフ巨大地震(陸側ケース)
(1) 震度5強 (松本市沢村付近、信州くらしのマップより)

◆ 浸水想定(大雨、洪水による)

1. 0.5m～最大3.0m未満(100年～1000年程度に一度起こる大雨の場合)
(100年～1000年後に起こるということではありません。明日かもしれないし、1年後かもしれません)

◆その他の災害…

- ・自然現象としては、台風、落雷、火山の噴火、地すべり、大雪、干ばつ、冷害など
- ・人為的災害としては、大規模な火災、大事件や交通事故、感染症、テロ行為など

※命・財産を守るために我家と地域の力、暮らし方を創造していきましょう！！

◎防犯防災通信「緑の風」(カラー版)は、パソコン、スマホで読むことも可能です。

松本市のホームページから➡地域の掲示板➡城北地区➡各町会から➡西町町会へ